2024 Green Festival

神戸学院大学

第462回

6月2日(日)　14：00開演

神戸学院大学 吹奏楽部 第36回サマーコンサート

指揮／松井隆司(音楽監督)、前澤柊(正学生指揮者)、東海林元就(副学生指揮者)
出演／神戸学院大学 吹奏楽部

申込締切日：5月13日(月)

第463回

6月8日(土)　15：00開演

アフター・アワーズ・セッション 三重奏・四重奏コンサート ～ブラームス・シリーズⅣ～

出演／アフター・アワーズ・セッション　ギオルギ・バブアゼ(ヴァイオリン)、三木香奈(ヴィオラ)、日野俊介(チェロ)、右近恭子(ピアノ)

室内楽演奏団体アフター・アワーズ・セッションの演奏会で、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、ピアノにより、弦楽三重奏、ピアノ三重奏、ピアノ四重奏と様々な組み合わせの音楽を演奏していただきます。作品は、ベートーヴェン、シューベルト、ブラームスのものです。後半を費やすブラームスの「ピアノ四重奏曲第3番 ハ短調 作品60」は、30分を要する深甚たる音楽で、壮年期のブラームスの充実ぶりを感じさせます。2021年から続くブラームス・シリーズの第4回となります。(曲目の詳細は裏面をご覧ください)

申込締切日：5月20日(月)

第464回

6月22日(土)　14：00開演

観世流 能『忠度』(解説付き)

出演／シテ：観世喜正　解説：中村健史

明石ゆかりの能『忠度』(世阿弥作)を上演いたします。和歌に心をかけた平家の名将・平忠度の勇ましく優美な舞い姿をお楽しみください。解説つきでの公演ですので、能が初めての方でも安心です。
関連企画として、6月14日(金)、15日(土)にプレ・イベントを開催いたします。詳細は裏面をご確認ください。

申込締切日(本公演)：6月3日(月)
申込締切日(プレイベント)：5月27日(月)

第465回

7月6日(土)　15：00開演

林裕美子ソプラノ・リサイタル ～旋法の音楽を巡って、グレゴリオ聖歌から日本歌曲まで～

出演／林裕美子(ソプラノ)、山中歩夢(ピアノ)、初田章子(フルート)、高岡奈美(チェロ)

ソプラノの林裕美子さんのリサイタルで、キリスト教会最古の音楽であるグレゴリオ聖歌における「旋法の音楽」と、その関連からフォーレ、ラヴェルなどの近現代のヨーロッパの作品、及び平井康三郎、橋本國彦などの日本の歌曲をお聴きいただきます。西洋音楽の原点の一つに触れる希少な機会となると共に、近現代作品ではフルートやチェロも交えた異色の歌曲も上演いたします。(曲目の詳細は裏面をご覧ください)

申込締切日：6月17日(月)

入場無料

会場／神戸学院大学有瀬キャンパス メモリアルホール(9号館6階)

主催／神戸学院大学　後援／兵庫県、(公財)神戸市民文化振興財団　参加／関西元気文化圏

イベント参加時の注意事項

※天候等により
中止になる場合がございます。
詳細は大学のHPをご確認ください。
https://www.kobegakuin.ac.jp/social_contribution/greenfes

※中止の場合は大学HPトップの「重要なお知らせ」に掲載いたしますので必ずご確認ください。
https://www.kobegakuin.ac.jp/

申込方法

お申し込み多数の場合は、抽選となります。
2通りのお申し込み方法があります。
①WEBによるお申し込み
大学HPまたは右にある二次元コードよりお申し込みください。
②往復はがきによるお申し込み
・往信裏面に❶公演日 ❷公演名 ❸住所 ❹氏名(ふりがな) ❺電話番号をご記入ください。
・返信表面にお申し込みの方の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。
・返信裏面は空白のままにお願いします。
・1枚につき1公演、1名様のみのお申し込みになります。
受付期間は各公演の3週間前(必着)です。(※土曜日の場合は月曜日、日曜日・祝日の場合は翌日)
公演当日は、はがきまたはメールを必ず提示してください。
未就学児(小学生未満)のお子さまのお申し込みおよび入場はご遠慮いただいております。

～個人情報の取扱について～
ご記入いただいた個人情報は、電話での申込内容の確認、
入場券の発送(抽選の場合の結果通知含む)、申込み状況の統計分析に限って使用します。
※公演5日前までに抽選連絡が届かない場合は、一度お問い合わせください。

WEBでのお申込みはこちらの二次元コードから！

関西から文化力
POWER OF CULTURE

申込・問い合わせ先

〒650-8586
(この郵便番号を使うと住所は省略できます)
神戸学院大学グリーンフェスティバル係
(担当部署:社会連携グループ)
電話 078-974-6105
平日 9:30-11:30、13:00-17:00

2024年(春季)　神戸学院大学　Green Festival

ご案内

1988年春に約700人収容の本学メモリアルホールが落成しました。それ以来、このホールを利用してクラシック音楽や日本の古典芸能・演劇、映画などの芸術作品を上演する「グリーンフェスティバル」を開催しています。企画は、それぞれの分野に専門を持つ本学教員が担当し、大学の重要な文化活動として30年を超えて継続的に開催しています。本学の一部学生課外活動団体（クラブ）の発表もこの一環として行っています。入場は無料です。充実した時間を本学メモリアルホールでお過ごしください。皆様のご来場をお待ちしています。

第462回　神戸学院大学 吹奏楽部 第36回サマーコンサート

指揮／松井隆司（音楽監督）、前澤柊（正学生指揮者）、東海林元就（副学生指揮者）　　出演／神戸学院大学 吹奏楽部

■ 演目
- **2024年度吹奏楽コンクール課題曲**
- **委嘱作品 初演**
- **ど演歌えきすぷれす**

その他

今年のサマーコンサートは、Ⅰ部では今年度の吹奏楽コンクール課題曲やこの演奏会が初演となる委嘱作品を演奏します。Ⅱ部では、みなさんが一度は聞いたことがあるような聞き馴染みのある曲をメドレーで演奏します。たくさんの新入部員を迎えパワーアップした神院brassサウンドをお届けします！部員一同、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

第463回　アフター・アワーズ・セッション 三重奏・四重奏コンサート ～ブラームス・シリーズⅣ～

出演／アフター・アワーズ・セッション　ギオルギ・バブアゼ（ヴァイオリン）、三木香奈（ヴィオラ）、日野俊介（チェロ）、右近恭子（ピアノ）

■ 演目
- **ルードヴィッヒ・ヴァン・ベートーヴェン …… 弦楽三重奏曲ハ短調 作品9-3**
- **フランツ・シューベルト …… ピアノ三重奏曲「ノクターン」変ホ長調 D.897**
- **ヨハネス・ブラームス …… ピアノ四重奏曲第3番ハ短調　作品60**

3年ぶりの登場となります演奏団体アフター・アワーズ・セッションにより、弦楽三重奏（ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ）、ピアノ三重奏（ヴァイオリン、チェロ、ピアノ）、ピアノ四重奏（ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、ピアノ）と様々な組み合わせの音楽を演奏していただきます。作品は、ベートーヴェン、シューベルト、ブラームスというドイツ・ロマン派音楽の中核を成す作曲家たちのものです。後半全てを費やすブラームスの「ピアノ四重奏曲第3番　ハ短調　作品60」は、30分を要する激しくも深甚たる音楽で、壮年期のブラームスの充実ぶりを感じさせます。2021年よりのブラームス・シリーズの第4回目となります。

第464回　観世流 能『忠度』

出演／シテ：観世喜正

明石ゆかりの能『忠度』（世阿弥作）を上演いたします。源平の合戦のなかにあっても、和歌に心をかけた平家の名将・平忠度。勇ましく優美な舞い姿をお楽しみください。解説つきでの公演ですので、能が初めての方でも安心です。
また、関連企画として「能『忠度』プレ・イベント　能の世界に触れてみよう」と題したミニ・レクチャーを下記の通り開催いたします。講師は、本学人文学部准教授の中村健史です。能『忠度』は『平家物語』に描かれる源平の合戦を題材にしています。あらすじや背景知識を学び、実際に『忠度』の一節を謡ってみましょう。はじめて能をご覧になる方、大歓迎です。
【プレ・イベントについて】※要事前申込（①、②共に同様の内容です。）
①：6月14日（金）18：00～19：30　会場：神戸学院大学 三宮サテライト
②：6月15日（土）14：00～15：30　会場：神戸学院大学 有瀬キャンパス 14号館1階 141A講義室　※開催場所が変更になりました。

第465回　林裕美子ソプラノ・リサイタル ～旋法の音楽を巡って、グレゴリオ聖歌から日本歌曲まで～

出演／林裕美子（ソプラノ）、山中歩夢（ピアノ）、初田章子（フルート）、高岡奈美（チェロ）

■ 演目

第1部：西洋音楽の原点としての「グレゴリオ聖歌」への誘い
ご来場の皆様にも歌唱参加していただくコーナーも用意します。どうぞご参加ください。
第2部：旋法の音楽　～日本、フランス、スイス、ドイツの歌曲のさまざま～

- **平井康三郎 …… 「ふるさとの」、「伊那」、「びいでびいで」、「幻想曲」、「さくらさくら」**
- **橋本國彦 …… 「春の組曲」より「前奏曲」、「春待つ心」**
- **藤井清水 …… 「紡車」、「川しぶき」、「皿屋敷」、「良寛さま」**
- **清瀬保二 …… 「樽の歌」**
- **パウル・ヒンデミット …… 「マリアの生涯」より「カナの婚宴」**
- **モーリス・ラヴェル …… 「マダガスカル島民の歌」**
- **ガブリエル・フォーレ …… 「リディア」、「月の光」**

グレゴリオ聖歌はキリスト教会最古の音楽として知られ、西洋音楽の原点の一つです。グレゴリオ聖歌は、通常の長調、短調といった音階とは異なる音の組織で出来ているのが特徴で、そういった音楽を「旋法の音楽」と言います。「旋法の音楽」は、近現代の音楽にも復権し多数聴かれるようになります。演奏を通してこの精妙な世界をお聴きいただくと共に、フルートやチェロも交えた異色の歌曲も上演いたします。

曲目・演目が変更されることがあります。ご了承ください。